パーキンソン病におけるダンス活動

第10回 PDダンスカフェ

参加者募集

2025年6月8日（日）14:00~16:30 ごろまで（受付 13:30～）

対象 パーキンソン病の方、ご家族、介護者などパーキンソン病に関わる方々
パーキンソン病や PD ダンスについて学びたい方

会場 ミリカローデン那珂川 文化ホール 他 ／ 福岡県那珂川市仲２丁目５番１号

定員 30 組程度

参加費 お一人様 500 円（当日現金にてお支払いください。）

※オンライン視聴も可能です。（要申込）

会場アクセス

▼アクセスについてのお問い合せ
☎ 092-954-2211／ミリカローデン那珂川
公共機関をご利用の方は JR 博多南駅発の「かわせみバス」をご利用ください。駐車場はございますが、会場近くのスペースが空いてない場合があります。車椅子ご利用の方、歩行に不安のある方は事前にお知らせください。

↑Google マップ

パーキンソン病と共に暮らす、すべてのみなさまへ

関連企画

第三期 PDダンス ファシリテーター養成講座

4回連続講座　受講者募集

2025年6月7日（土）14:00~16:00

対象 ダンス(ジャンル不問 / レッスン含む)を踊ったことがある方で、パーキンソン病の方、そのご家族や介護者等の支援者、医療や福祉関係者でダンスを用いてリハビリを行いたい方
※ダンス指導経験は必要ありません。

条件 翌日の PD ダンスカフェに現地もしくは ZOOM (画面オフ) にてご参加いただける方。
※PD ダンスカフェは参加必須です。

定員 ①現地参加 ／5 名　②ZOOM 参加 ／10 名

場所 ①初回 6 月 7 日はミリカローデン那珂川 文化ホール／ 2 回目以降は福岡市内スタジオ
②ZOOM（お申し込み後に URL をお伝えします。）

参加費 3,000 円／回（全 4 回講座で各回 3,000 円となります。）

2回目以降 8 月 2 日（土）、10 月 11 日（土）、12 月 6 日（土）を予定　※日時は調整中

お支払い方法 ①現地にて現金支払い　②お振込（申し込み後に振込先をお伝えします。）
お申込み期限 5 月 31日（土）

PDダンス Dance for PD Japan　パラカダンス　文化庁

主催　文化庁、一般社団法人パラカダンス、公益財団法人那珂川市教育文化振興財団
協力　坪井義夫教授、(株)サンウェルズ、Dance for PD Japan～パーフェクトダンス

文化庁委託事業「令和7年度障害者等による文化芸術活動推進事業」

第 10回 PDダンスカフェ

6月8日（日）※オンライン視聴可（要申込）

仲間と出会いたい方、新しいことに挑戦し続けていたい方のために・・・
『PD ダンスカフェ』では車いすや椅子に座ったまま出来るダンスの紹介やパーキンソン病のレクチャー、カフェタイムでの交流・相談会を通して、パーキンソン病との付き合い方や悩み、疑問、情報等が共有できるひとときを提供しています。

スケジュール

映像リンク▶
ダンスカフェの様子をご覧いただけます。

13:30 ～	受付開始
14:00 ～ 14:05	ごあいさつ
14:05 ～ 14:25	レクチャータイム（坪井教授）※客席にてご参加いただきます。
14:30 ～ 15:30	PD ダンスタイム（マニシア）※希望者は舞台上にてご参加いただけます。
15:45 ～ 16:30	交流・相談タイム ※楽屋で実施いたします。

※当事者のグループとご家族を含む介護者のグループが、２つのお部屋に分かれて、それぞれお話しできる機会を設けます。
※交流・相談タイムにはパーキンソン病専門の医師・坪井義夫教授とパーキンソン病療養指導士の山本澄子さんが立ち合います。

お申込み方法

下記の必要事項をメール・FAX・お電話にてお知らせください。

① **参加者の人数と氏名**
例）福岡花子（当事者）・福岡太郎（夫）の 2名で参加します。
② **名札に記載する名前orニックネーム等**
（下の名前でも、別の名前でも構いません。当日の変更も可能です。）
③ **参加者の年齢（年代）**
④ **顔出し OK かNGか**（SNS や文化庁の報告書用に写真を使用する場合があります。）
⑤ **歩行に不安のある方はお知らせください。**（車いすや歩行器使用の有無等）
⑥ **事前に相談したいことが決まっている方はお知らせください。**（当日、その場での相談も可能です。）

レクチャー講師（カフェ）
坪井義夫教授

1986 年千葉大学医学部卒。同大学神経内科に入局後、松戸市立病院等を経て 1997 年より福岡大学神経内科所属。2000 年から 3 年間米国 Mayo Clinic 留学後、再び福岡大学病院に所属し、2011 年 10 月～ 2024 年 3 月まで脳神経内科学教室教授を務める。脳神経内科領域でも運動障害学、特にパーキンソン病を専門として臨床、研究をする傍ら、友の会顧問活動を通じて社会活動を行っている。現在は、つつみクリニックにてパーキンソン病専門外来センターのセンター長として勤務の他、順天堂大学共同研究講座特任教授も務める。

山本澄子
難病看護師（カフェ）

1994 年国立指宿病院付属看護学校卒業。同年より福岡大学病院に入職し、2002 年から脳神経看護を経験。2017 年からパーキンソン病のデバイス補助療法に携わり、2019 年 World Parkinson Congress(WPC) のケアパートナーラウンジ日本人スタッフとして参加する。難病看護師、パーキンソン病療養指導士として施設内のパーキンソン病の看護や様々な職種との連携調整を行うとともに、PD ダンスでは当事者だけでなく、ご家族（ケアパートナー）の方々への支援に取り組んでいる。

関連企画 第三期 PDダンスファシリテーター養成講座

講師：マニシア

6月7日（土）

パーキンソン病と共に暮らす方々を対象としたダンス活動を、家族や仲間の小グループ、福祉施設やダンススタジオ等、お住まいの地域で広げていきたい方々に向けた講座です。
当事者、支援者、ダンサー、当事者に寄り添いたい方、ダンス初心者も大歓迎です。
本講座は全４回連続受講です。

スケジュール

13:30	受付・入室
14:00	開始
15:30	質疑応答
16:00	終了

お申込み方法

下記の必要事項をメールにてお知らせください。

① お名前　③ 年齢　④ 住所　⑤ 参加方法（現地 orZOOM）
⑥ 参加の動機　⑦ パーキンソン病との関係　⑧ ダンス経験の内容

２回目以降　8 月 2 日（土）、10 月 11 日（土）、12 月 6 日（土）を予定　※日時は調整中

PDダンス®とは？

「パーフェクトダンス」と「パーキンソン病」2 つの PD を融合させた独自の名称で、現在世界中に広がっているマークモーリス・ダンスグループ（N.Y.）によるパーキンソン病のためのダンス活動「Dance for PD®」（2001 ～）を元に、日本では福岡から 2016 年に始まりました。福岡のメンバーたちは「Dance for PD Japan パーフェクトダンス」として活動しながら独自のメソッドを開発しています。PD ダンスは想像力や創造力を高めつつ、視覚・聴覚など五感を働かせながら、身体・精神の潜在能力を最大に活かす効果があり、脳や身体、心にも良い影響をもたらすと いうエビデンスが続出しています。

ここではみんながダンサーです。

Dance for PD Japan パーフェクトダンス HP ページ

Dance for PD Japan パーフェクトダンス FB ページ

パラカダンス FB ページ

長期にわたるニューヨークでのダンス活動後、福岡を拠点に多世代の多様な方々とのコミュニティダンスを全国に展開している。
パーキンソン病と共に暮らす人々のためのダンス Dance for PD® の国際認定講師で、2016 年より福岡で PD ダンス®を始める。2019 年より「PD ハウス」でのダンス活動を実施中。ヨーロッパで隔年開催されているアートセラピーのカンファレンスへ 2005 年～2019 年に参加し、「生きること」をテーマにしたダンス作品の公演を継続。

マニシア
PD ダンスファシリテーター（カフェ・養成講座）

【お申込み・お問い合わせ】担当：一般社団法人パラカダンス 野中
danceforpd.japan@gmail.com　**FAX 092-831-8950　携帯 090-7468-7867**